

○参考文献、サイト

- ・「記録史料の保存・修復に関する研究集会」実行委員会編『記録史料の保存と修復—文書・書籍を未来の遺す』アグネ技術センター、1995年
 - ・小川雄二郎監修『図書館・文書館の防災対策』、雄松堂、1996年
 - ・沢田正昭『文化財保存科学ノート』近未来社、1997年
 - ・中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』、雄山閣、1998年
 - ・小川雄二郎『文書館の防災を考える』、岩田書院、2002年
 - ・京都造形芸術大学編『文化財のための保存科学入門』角川書店、2002年
 - ・小川雄二郎「文書館災害対策論」、国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学 上』、柏書房、2003年
 - ・三浦定俊・佐野千絵・木川りか『文化財保存環境学』朝倉書店、2004年
 - ・松下正和・河野未央編『水損史料を救う 風水害からの歴史資料保全』岩田書院、2009年
 - ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『劣化する戦後写真—写真の資料化と保存活用』岩田書院、2009年
 - ・大林賢太郎『写真保存の実務』岩田書院、2010年
 - ・園田直子編『紙と本の保存科学【第2版】』、岩田書院、2010年
 - ・青木睦「大量水損被害アーカイブズの救助システムと保存処置技術」、『平成18年7月豪雨災害における水損被害公文書対応報告書』、天草市立天草アーカイブズ、2010年
 - ・東京文化財研究所編『文化財の保存環境』、中央公論美術出版、2011年
 - ・穴倉佐敏『必携 古典籍・古文書料紙事典』、八木書店、2011年
 - ・国立歴史民俗博物館編『被災地の博物館に聞く』吉川弘文館、2012年
 - ・動産文化財救出マニュアル編集委員会編『動産文化財救出マニュアル 思い出の品から美術工芸品まで』クバプロ、2012年
 - ・石崎武志『博物館資料保存論』講談社、2012年
 - ・青木睦『被災資料救助から考える資料保存—東日本大震災後の釜石市での文書レスキューを中心に』NPO 共同保存図書館・多摩、2013年
 - ・岩手県立博物館『2011.3.11 平成の大津波被害と博物館—被災資料の再生を目指して—』（展示図録、2013年）
 - ・神庭信幸『博物館資料の臨床保存学』武蔵野美術大学出版局、2014年
 - ・『装演文化財の保存修理—東洋絵画・書跡修理の現在』国宝修理装演師連盟、2015年
 - ・RD3 プロジェクト『被災写真救済の手引き—津波・洪水などで水損した写真への対応マニュアル』国書刊行会、2016年
 - ・博物館における施設管理・リスクマネジメントガイドブック 基礎編・実践編・発展編（三菱総合研究所、H20～22）
http://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan_hakubutsukan/shinko/hokoku/index.html
 - ・日本図書館協会 資料保存委員会 「被災資料救済リンク集」
https://www.jla.or.jp/portals/0/html/hozon/kyusai_link.html
 - ・国立公文書館 被災公文書等修復マニュアル（H25.3）
www.archives.go.jp/top/pdf/syuhukumanual.pdf
 - ・北海道立公文書館
- 松下正和「「水ぬれ資料を救おう—被災資料の救出と日頃の備え— 2018（平成 30）年度文書等保存利用研修会記録」平成 30 年 11 月 12 日に実施した文書等保存利用研修会の記録。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/file.jsp?id=1206064>

■水損史料の搬出・乾燥修復・補修用グッズ一覧

①水損史料取扱時（レスキュー

現場）の服装・装備

- ・帽子 or ヘルメット
- ・ゴーグル or 防塵メガネ（目に汚水やゴミが入るのを防ぐ）
- ・シャワーキャップ
- ・防塵マスク
- ・タオル
- ・長袖・長ズボン（作業着がベスト）
- ・長靴 or 作業靴（鉄板入り）
- ・名刺 or つり下げ名札 or 腕章 or ガムテープに所属・氏名を書いて腕や胸にはっても可
- ・厚手で長めのゴム手袋（軍手を中にはめるのも可）
- ・水筒（手や目を洗える水がベスト）
- ・ウエストポーチ（雨具、塩分補給の飴、救急セット、貴重品、携帯電話などの荷物をひとまとめ）
- ・懐中電灯（電池が長持ちするLEDライトがベスト）
- ・トランシーバー
- ・史料ネット作成のチラシ（史料ネット活動が掲載された地元新聞記事があればベスト）

②水損史料取扱時（室内での修復）の服装・装備

- ・ゴーグル or 防塵メガネ（目に汚水やゴミが入るのを防ぐ）
- ・シャワーキャップ
- ・防塵マスク（DS2以上）
- ・タオル
- ・長袖・長ズボン（作業着 or エプロン着用がベスト）

- ・薄手の天然ゴム手袋

③蔵出しグッズ

○現状記録

- ・クリップボード、Bの鉛筆・油性ペン、現状記録用紙、メジャー（コンベ or 布製）
- ・デジカメと記録メディアの予備（充電アダプターと換えの電池があればベスト）

○解体

- ・工具類（木槌、金槌、ペンチ、のこぎり、カッター、ドライバー、バール、釘抜き、ハサミなど）

○消毒

- ・霧吹き
- ・エタノール（無水でもかまわないが76.9～81.4vol%がよい）
- ・ウェットティッシュ

○養生と搬出

- ・ゴミ袋（透明、大中小のサイズ、90 \times 90 \times 用2枚で襖を覆える）
 - ・プチプチ
 - ・薄葉紙
 - ・中性紙封筒
 - ・紙座布団
 - ・毛布
 - ・コンテナ or メッシュコンテナ（なければプラスチック製衣装ケースでも可）
 - ・段ボール
 - ・ガムテープ or 養生テープ
 - ・荷札ラベル
- #### ○乾燥
- ・業務用扇風機

<以下の作業、現状記録用のデジカメ、服装のマスク・手袋着用などは省略>

④自然乾燥・送風乾燥グッズ

○容器

- ・メッシュコンテナ or ザル

○クリーニング

- ・ブラシ類（刷毛、歯ブラシ、洗車ブラシ）

○消毒

- ・霧吹き
- ・エタノール（無水でもかまわないが76.9～81.4vol%がよい）
- ・キッチンタオル

○固着展開

- ・へら or パレットナイフ or バターナイフ
- ・ピンセット
- ・レーヨン紙

○乾燥

- ・扇風機
- ・防鳥ネット
- ・トタン板 or プラスチック段ボール
- ・シーツ

⑤冷凍処置グッズ

○消毒 →④と同じ

○固着展開 →④

○ナンバリングと現状記録

- ・ふせん（和紙か中性紙コピー用紙を使用。あれば耐水紙で）
- ・Bの鉛筆

○保管

- ・ビニール袋（横帳が収納できるくらいの大きさ）

・冷凍庫（ホームセンターなどで購入、100%で対応可）

⑥吸水乾燥グッズ

○消毒 →④と同じ

○固着展開 →④と同じ

○吸水

- ・新聞紙
- ・セルロース系スポンジ
- ・セームタオル
- ・キッチンタオル
- ・段ボール

○史料保護

・不織布 or 網戸の網（グラスファイバー製）

⑦史料洗浄グッズ

○消毒 →④と同じ

○固着展開

- ・へら
- ・ピンセット
- ・史料が入るくらいの大きめのパレット

○洗浄

- ・精製水（浄水機能で濾過済みの水道水でも可）
- ・亚克力板（文書の下に敷き、洗浄時の支持体となる）
- ・不織布（ポリエステル製の水切りゴミ袋で可）
- ・刷毛
- ・筆（書道用 or 絵画用）
- ・網戸の網（グラスファイバー製）（文書を挟んで洗ったり、水から取り上げる際に支持体として利用）

・精製水（浄水機能で濾過済みの水道水でも可、シャワー機能があると便利）

○吸水乾燥 →⑥と同じ

○接続作業（継や付箋が外れた場合）

- ・糊（小麦 or デンプン 100%のもの、防腐剤・ホルマリンが使用されていないもの、洗濯糊・CMC で代用可）
- ・「ぞうさん」（スチ糊用注入器）

・小筆 or 刷毛

・小皿 or 小さめのパレット

⑧真空保管グッズ

○保管

- ・ビニール袋
- ・ジッパー付き食品保存用ビニールパック

○真空

- ・家庭用真空パックマシーン
- ・ふとん圧縮袋

○吸湿

- ・シリカゲル

○脱酸素

- ・「エージレス」（脱酸素剤）（モルデナイベとセットで）

⑨史料補修グッズ

- ・小皿 or 小さめのパレット
- ・糊（小麦 or デンプン 100%のもの、防腐剤・ホルマリンが使用されていないもの、洗濯糊・MC で代用可）
- ・「ぞうさん」（スチ糊用注入器）
- ・小筆 or 刷毛
- ・補修用の手漉き和紙（典具帖紙）

⑩水損アルバム処置グッズ

○クリーニング →④と同じ

○消毒 →④と同じ

○固着展開 →④と同じ

○写真複製

- ・デジカメ or スキャナ
- ・DVD-R（焼き付けて史料所蔵者にあげる）
- ・DVD ドライブ付きノートPC

⑪屏風・襖下張り剥がしグッズ

○木枠解体・引き手はずし

- ・バール、木槌
- ・カジヤ or インテリアバール
- ・ニッパー

○現状記録 →③と同じ

○下張り剥離

- ・霧吹き
- ・ビニールシート
- ・レーヨン紙
- ・刷毛、小筆 or 綿棒
- ・へら or パレットナイフ or バターナイフ
- ・カッターナイフ

⑫保管

- ・中性紙箱、封筒
- ・防虫剤
- ・除湿剤

（松下正和作成）